

# おかやまプレイパーク News

## 2月号



開催日：水～日曜 10時～16時

場所：国際児童年記念公園こどもの森（岡山市北区学南町3-6-1）

HP= <http://www.kodomo-npo.jp/playpark/>

FB = <http://www.facebook.com/Okayama.playpark>



## 節分祭(豆まき)

### 2月3日(日)11時頃～

2月3日は節分、豆まきの日。

今でいう「節分」とは、立春を前に、邪気をはらい福を招くための行事です。

明るい春を迎えられるよう、

今年もみんなで豆まきをしよう！

今年はどうなオニが  
やって来るかな！？

## いっしょにおそとであそぼ！

### 2月14日(木) 11時頃～

- ・オニあそび
- ・絵本の読み聞かせ
- ・スープ（1杯100円）

0.1.2.3さい  
あつまれ～

### お休み

#### 2/17(日)12時～

スタッフの救急研修のためお休みします

3月9日(土)は、

サンキュー

## 3.9 感謝祭

サポーターのみなさん、遊びに来ている方、地域で支えてくださっている方、  
そして、スタッフも。

### みんなに「ありがとう！」

楽しめる企画を準備中。ぜひ、遊びに来てくださいね。

遊びに来るね



赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート基金」の助成を受け  
外遊びを通じた子育て支援事業を行っています。

★交流サロン 毎月第2木曜日 11～15時

★子育てサポート・支援 毎週金曜日 10～16時

毎日、子育てサポートスタッフがいます。声をかけてくださいね

主催：特定非営利活動法人岡山市子どもセンター 〒701-0144 岡山市北区久米 348

Tel 086-242-1810 (月～金、10～17時)

Fax 086-242-1830

E-mail=kodomo-npo@mx91.tiki.ne.jp

URL=<http://www.kodomo-npo.jp/>

FB=<http://www.facebook.com/kodomonpo.okayama>

## ESD: 持続可能な子どものための遊び場づくり

是非、知ってもらいたいお話があります。岡山市内で子どもの遊び場「プレーパーク」づくりがはじまったのは、2002年3月のことでした。旧出石小学校の校庭を借りて、全身を使っての外遊び、廃材での工作やドラム缶を利用してのたき火など、いつもの公園ではなかなか出来ない体験を重ねました。最初は年に2日間の開催でした。

子どもたちは教えてくれます。子どもにとっての遊びは毎日の暮らしそのもの。子どもの遊びには、暮らしの中での喜怒哀楽が詰まっていることを。時に危ない挑戦をしたり、静かに語ったり。

少しずつ歩んだ取り組みは、2008年からは、学南町の国際児童年記念公園「こどもの森」の一画を岡山市から借りて、「おかやまプレーパーク」として、年に約240日の開催となりました。市民による非営利の取り組みとしては、日本国内でも有数のめずらしい実践と言えます。多くの市民ボランティアの参加をはじめ、子どもが外で遊ぶことを、あたたかく見守ってくれる地域のみなさんのおかげです。現在、年間に約2万人を超える人たちが遊び場に参加してくれることが、持続させていくんだという意志の源になります。同時に岡山市をはじめ、行政の施策には位置づけられるまでには至っていないこと、毎年の運営資金の確保など ↗

### 【お餅つき】 1月20日（日）

今年もたくさんの方でお餅つき。学区の連合町内会長さん、ご近所の方々の参加もあり、賑わいの中、お餅をつきました。子どもたちも大活躍！



力強い、お父さんの餅つき！



みんなが見守る中、子どもたちもきねを持って。

取り組みを持続させていく上での大きな課題や悩みもあります。

➡ 2014年、岡山市において、国連が定めた「ESDの10年」の最終年会合が開催されます。誰もが安心して暮らせる社会づくりを目指す活動をESD（Education for Sustainable Development）というキーワードで総括する国際会議が、岡山市で行われるのです。2002年にはじまったこのプレーパークづくりは、子どもの遊び場づくりを通じた地域づくりでもあります。子どもから大人まで幅広い年代の人が集い、交流するコミュニケーションの場でもあります。

人は、遊ぶことで刺激され、豊かさを感じ、その人の集まりが地域をより魅力的に活性化させるのです。まさに子どもの遊び場づくりは、国連の推奨するESDの実践例であると言えます。

子どもがこれまで以上に安心しておもいきり地域で遊べる環境づくりや、その遊べる環境づくりを応援する人たちを増やしていくことは、未来の岡山づくりであり、岡山市や県などの行政、企業だけでなく地域に暮らす市民の総合的な連携が不可欠です。岡山市内においても、はじまっています。

まずは、知ってもらえると有り難いです。

## プレーリーダー 松田秀太郎

もち米が蒸されるにおい、みんなの笑顔、お餅つきの音・・・

おかやまプレーパークの新しい年は、ますます楽しくなりそうです♪



ちょっと大きいお兄ちゃんは、自分の力でぺったんぺったん！



家族やお友だちと、餡、きな粉、お醤油の味と一緒に餅を食べました。

# おかやまプレーパーク 1月の様子

## 「ももっこステーション」に認定

「乳幼児とその保護者が気兼ねなく訪れ、くつろいだり相互に交流したり、子育てについて相談ができる身近な場所」として岡山県から認定を受けました。通常の認定の対象は、屋内施設（地域子育て支援拠点、児童館、その他子育て親子の居場所等）が主です。



おかやまプレーパークは、日常的に人がいて受け入れができるので、屋外としては初めの認定です。

乳幼児とその保護者、地域の方々がこの場で集い、地域ぐるみの子育て応援ができるようにしていきたいと思えます。

「子どもの自由な遊びをめざして」  
 おかやまプレーパークは、NPO法人岡山市子どもセンターが岡山市から公園の一面を借りて、プレーリーダーや市民ボランティアとともに運営しています。  
 禁止事項ばかりの遊び場だと、楽しい遊びができません。  
 子どもが主体的に自由に遊ぶには、「事故や自分に起こった出来事は、自分の責任」という考え方が基本です。私たちは、大人が見守る姿勢を大切にしていきます。みんなの参加で楽しい遊び場をつくりましょう。  
 おかやまプレーパーク

私たちが大切にしていることをこの旗に書きました。  
 子どもたちが自由に遊ぶことのできる場をみなさんと一緒につくっていきたいと思えます。

## 【モミノキ】

昨年のXmasにやってきたモミノキ。1月10日（木）、この遊び場に根をおろしました。



## 【あったかハウス】 1月11日（金）～19日（土）

プレーリーダーヒデさんと一緒に、廃材を利用して、あったかハウスの骨組を作りました。その後は、子どもたちの自由な発想で自由に作ってもらいたいと思い、現在も遊び場に置いてあります。



鉛筆、釘、かなづち、かなざし、電動工具を手に、大切な基礎を作りました。



歪みを確認のため、平らな所へ基礎部分を移動。



半分だけ屋根をつけました。あとは、子どもたちが自由に～！



シートをガムテープで張って囲っています。  
 ハウスっほい！おしゃべりしながら、料理を作ったり、お外へ買い物に行ったり・・・。  
 机、椅子、フライパン、鍋などが運び込まれ、中は充実！

## 〈その後…〉

「あら～、こんなところにおうちがあるわよ」とお母さんの声。人気スポットになっています！